NN6001A アナログ回線 IP 多重化装置 簡易設定

1．準備

設置作業に必要な機器等を以下に示します。

① コンソール用 PC（9 ピンシリアルコネクタが必要）
② シリアルインタフェースケーブル（NN6001A 添付品）
③ 汎用通信ターミナルソフト（TeraTarm 等）
④ プラスドライバ（Φ3mm）

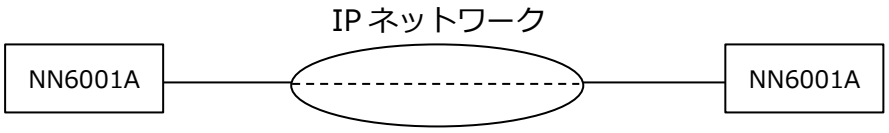
シリアル接続での通信設定は、取扱説明書「5.1.2 シリアル接続での通信設定」（P44）を参照してください。

2． 通信モード設定

NN6001A には、2 種類の通信モードがあります。

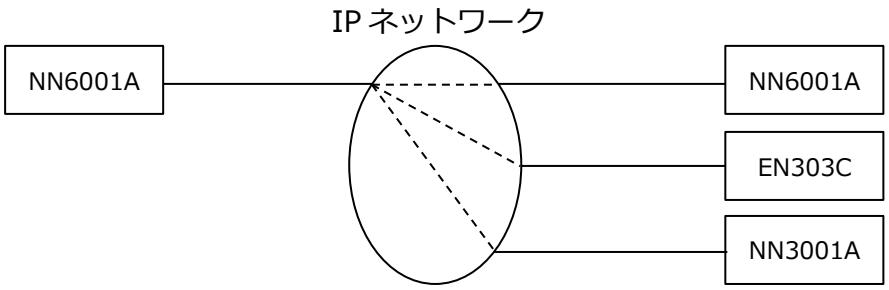
【対向モード】

本装置を対向設置して通信するモードです。



【メッシュモード】

本装置と複数対地の本装置や IP アダプタ（EN303C、NN3001A）と通信するモードです。



通信モードの設定は、システムコンソールより設定します。
設定コマンドの詳細は、「NN6001A アナログ回線 IP 多重化装置 コマンドリファレンス」を参照してください。

3．管理用 IP アドレス設定

NN6001A には、管理用 IP アドレスと通信用 IP アドレスの 2 種類の設定があり、システムコンソールより設定します。以下に、本装置の管理用 IP アドレス設定の例を示します。

IPaddress　　：192.168.1.12　（デフォルト設定）
Netmask　　：255.255.255.0
Gateway　　：192.168.1.1

管理用 IP アドレス（IPaddress）、ネットマスク設定（Netmask）、デフォルトゲートウェイ設定（Gateway）は、接続する IP ネットワークに合わせて設定してください。

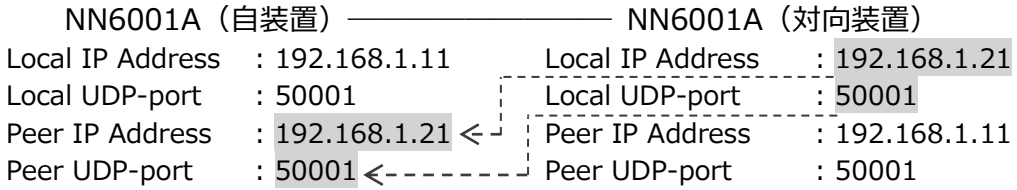
※1：ネットマスク／デフォルトゲートウェイ設定は管理用／通信用共通です。
※2：管理用 IP アドレスと通信用 IP アドレスは、異なる IP アドレスを設定してください。

設定コマンドの詳細は、「NN6001A アナログ回線 IP 多重化装置 コマンドリファレンス」を参照してください。

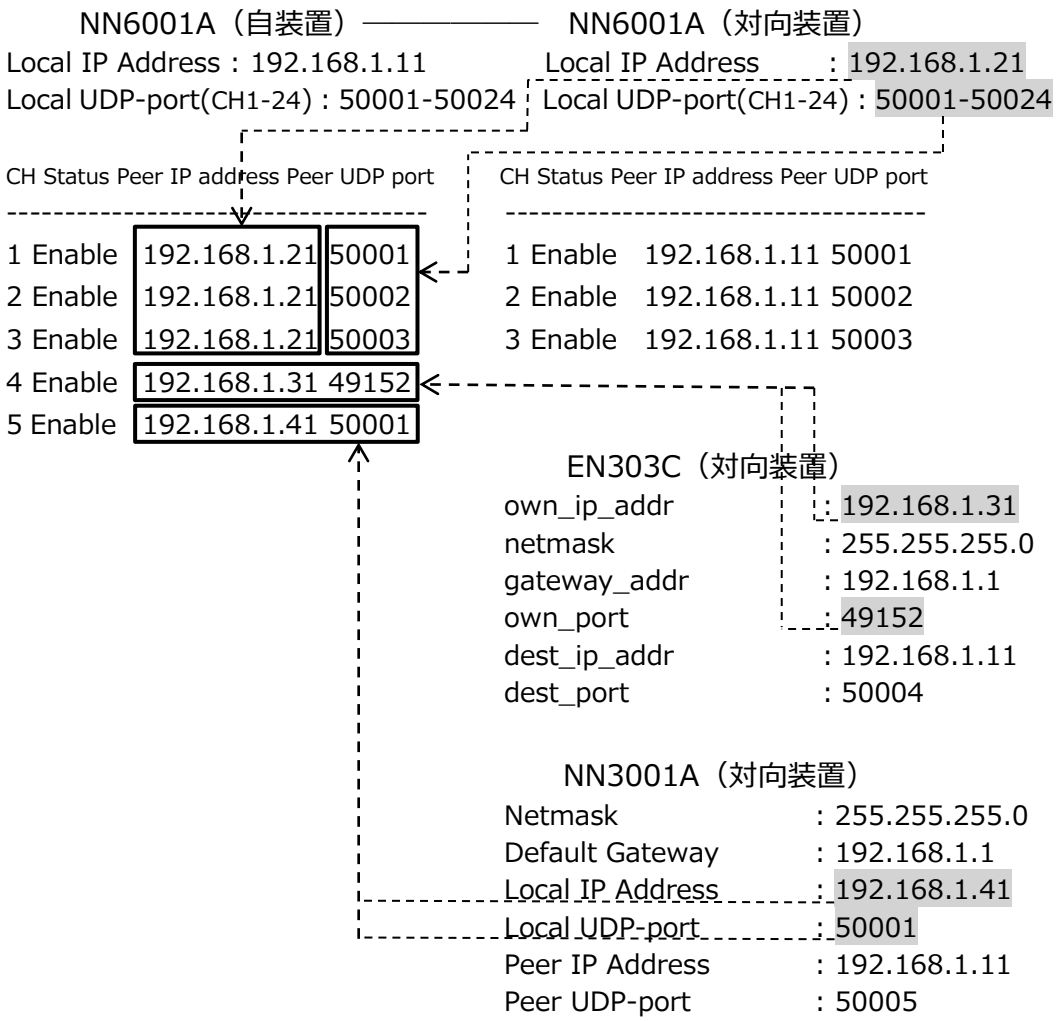
4．通信用 IP アドレス設定

NN6001A には、管理用 IP アドレスと通信用 IP アドレスの 2 種類の設定があり、システムコンソールより設定します。
以下に、本装置の通信用 IP アドレス設定の例を示します。

【対向モード】



【メッシュモード】



通信用 IP アドレス（Local IP Address)、ポート番号（Local UDP-Port）は、接続する IP ネットワークに合わせて設定してください。

通信相手を識別する通信用対向アドレス（Peer IP Address）と対向ポート番号（Peer UDP-Port）は、それぞれ対向装置となる NN6001A/EN303C/NN3001A に合わせて設定してください。

※1：通信用対向アドレス／ポート番号は、クロス設定となるように設定してください。
※2：ネットマスク／デフォルトゲートウェイ設定は通信用／管理用共通です。
※3：ポート番号（UDP-Port）は自装置と対向装置で同じ番号を設定できます。
※4：管理用 IP アドレスと通信用 IP アドレスは、異なる IP アドレスを設定してください。
※5：自ポート番号は、設定した値がチャネル#01 のポート番号となります。
チャネル#02~#24のポート番号は、装置内部で自動的に+1しながら
チャネル#24まで自動で設定されます。

設定コマンドの詳細は、「NN6001A アナログ回線 IP 多重化装置 コマンドリファレンス」を参照してください。

3．イーサネットインタフェース設定

イーサネットインタフェース設定はシステムコンソールより設定します。
NN6001A アナログ回線 IP 多重化装置には、３つのイーサネットポートがあります。ポート１は通信用／管理用のポートです。ポート２／３は拡張用のポートです。
以下に、本装置のイーサネットインタフェース設定の例を示します。

【IP ネットワーク機器が、” Auto Negotiation “の場合】

Port	Status	Autonego	Speed	Duplex	802.1p	Port-base
1(Trans)	enable	enable	100M	full	disable	disable
2(Ext1)	enable	enable	100M	full	disable	disable
3(Ext2)	enable	enable	100M	full	disable	disable

【IP ネットワーク機器が、”100Mbit/s　Full“の場合】

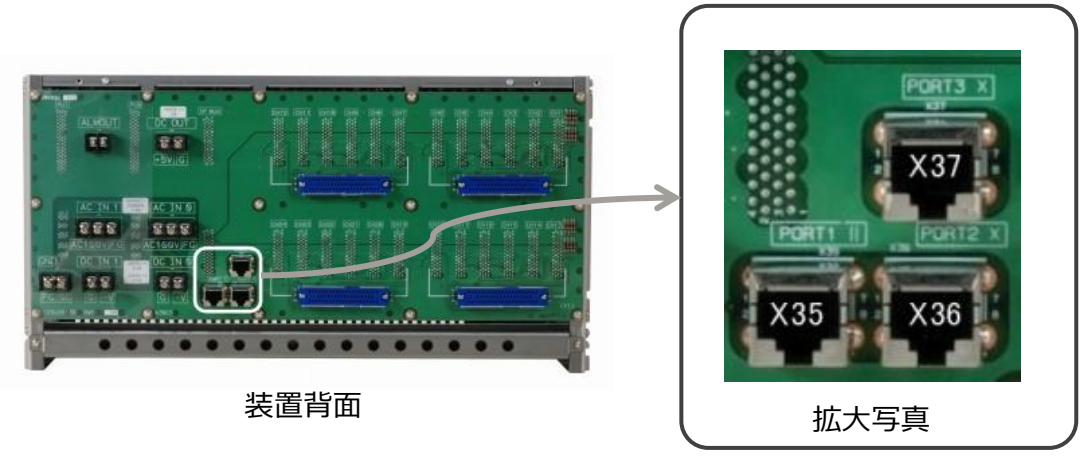
Port	Status	Autonego	Speed	Duplex	802.1p	Port-base
1(Trans)	enable	disable	100M	full	disable	disable
2(Ext1)	enable	disable	100M	full	disable	disable
3(Ext2)	enable	disable	100M	full	disable	disable

【IP ネットワーク機器が、“10Mbit/s　Full”の場合】

Port	Status	Autonego	Speed	Duplex	802.1p	Port-base
1(Trans)	enable	disable	10M	full	disable	disable
2(Ext1)	enable	disable	10M	full	disable	disable
3(Ext2)	enable	disable	10M	full	disable	disable

設定コマンドの詳細は、「NN6001A アナログ回線 IP 多重化装置 コマンドリファレンス」を参照してください。

ポート１（X35）：上位装置（IP ネットワーク機器）に接続します。
ポート 2/3（X36、X37）：端末装置などを接続します
※：背面パネルは上部のネジを緩めることで取り外せます。



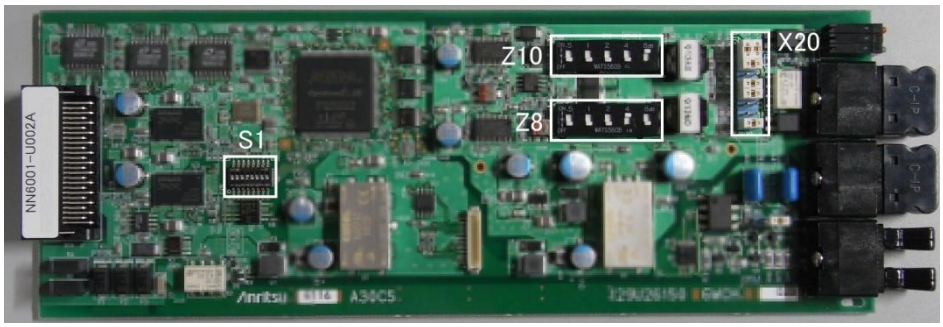
装置背面　　拡大写真

4．端末インタフェース設定

装置前面のチャネルユニットパネルの止めネジ（6 個）を緩めて、パネルを取り外します。各 CH ユニットは、引抜工具（添付品）にて取り出せます。

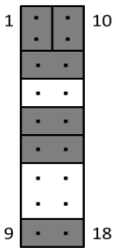
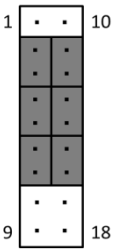
4．1．6WCH ユニット

2WCH ユニットの設定方法を以下に示します。詳細は取扱説明書「4.4.2 6WCH ユニット」（P34）を参照してください。



1）2W／4W 回線設定（X20）

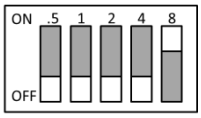
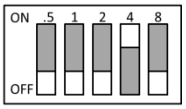
6WCH ユニットは 2W/4W 回線の切り替え設定ができます。出荷設定は 4W 回線です。詳細は取扱説明書 「4.4.2 6WCH ユニット」（P34）を参照してください。

回線	X20	備考	ショートプラグ図
4W 回線	・X20(1) － X20(2) ・X20(10)－ X20(11) ・X20(3) － X20(12) ・X20(5) － X20(14) ・X20(6) － X20(15) ・X20(9) － X20(18)	出荷設定	X20 
2W 回線	・X20(2) － X20(3) ・X20(11)－ X20(12) ・X20(4) － X20(5) ・X20(13)－ X20(14) ・X20(6) － X20(7) ・X20(15)－ X20(16)		X20 

2）レベルダイヤ設定（Z10:SPAD／Z8:RPAD）

送受信信号を各々0dB～15dB／0.5dB ステップで可変することができる可変アッテネータがあります。アナログ信号のレベル調整が必要な場合は設定を変更してください。

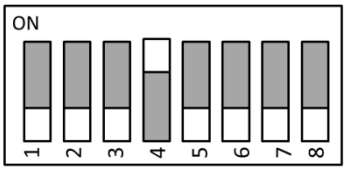
・SPAD：端末装置が送信するレベルに対する設定用アッテネータ
・RPAD：端末装置が受信するレベルに対する設定用アッテネータ

アッテネータ設定		Z10(SPAD)	Z8(RPAD)
0.5	0.5dB	出荷設定：8dB	出荷設定：4dB
1	1dB		
2	2dB		
4	4dB		
8	8dB		

出荷設定は、4W 回線では送信：0dBr、受信：0dBr、2W 回線では送信：0dBr 受信：-8dBr となるように設定してあります。

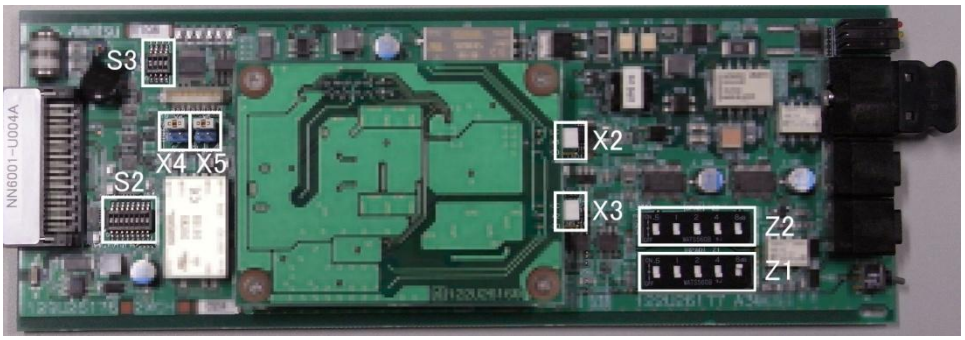
回線	SPAD	RPAD	レベルダイヤ	
			送信	受信
4W 回線	8dB	4dB	0dBr	0dBr
2W 回線	0dB	4dB	0dBr	-8dBr

3）ゆらぎ吸収バッファ設定（S1）

<table>
<tr><th></th><th>設定内容</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>1</td><td rowspan="4"><table>
<tr><th>4</th><th>3</th><th>2</th><th>1</th><th>[ms]</th></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>5ms</td></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>10ms</td></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>15ms</td></tr>
<tr><td colspan="5">|</td></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>75ms</td></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>80ms</td></tr>
</table></td><td rowspan="4">出荷設定：45ms
  </td></tr>
<tr><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td><td rowspan="4">メーカ調整用
(変更しないでください)</td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td></tr>
</table>

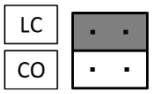
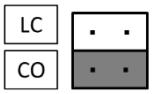
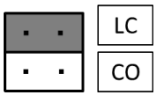
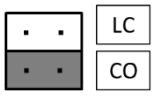
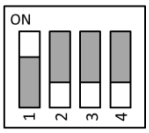
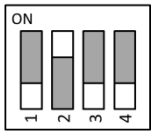
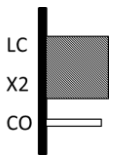
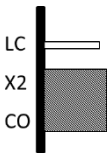
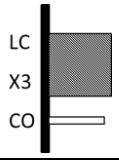
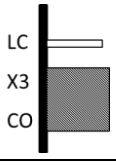
4．2．2WCH ユニット

2WCH ユニットの設定方法を以下に示します。詳細は取扱説明書「4.4.4 2WCH ユニット」（P37）を参照してください。



1）LC／CO モード設定（X4、X5、S3-1/2、2WSUB X2、2WSUB X3）

2WCH ユニットには、対電話機モード：LC、対交換機モード：CO の 2 つのモード設定ができます。出荷設定は対電話機モード：LC です。

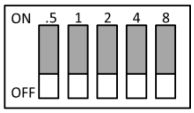
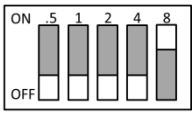
設定	対電話機モード LC モード（出荷設定）	対交換機モード CO モード
X4 ジャンパ		
X5 ジャンパ		
S3-1 S3-2 ディップ スイッチ	 S3-3：OFF：転極なし、ON：あり S3-4：呼出信号発振周期 OFF：SR 従属発振 ON：インターバル発振	 S3-3：OFF：転極、ON：あり S3-4：呼出信号発振周期 OFF：SR 従属発振 ON：インターバル発振
2WSUB X2 ジャンパ		
2WSUB X3 ジャンパ		

※：2WSUB は、2WCH ユニットの 2 階部分のサブユニットを示します。

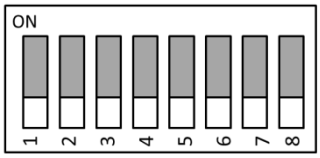
2）レベルダイヤ設定（Z2:SPAD／Z1:RPAD）

送受信信号を各々0dB～15dB／0.5dB ステップで可変することができる可変アッテネータがあります。アナログ信号のレベル調整が必要な場合は設定を変更してください。

・SPAD：端末装置が送信するレベルに対する設定用アッテネータ
・RPAD：端末装置が受信するレベルに対する設定用アッテネータ

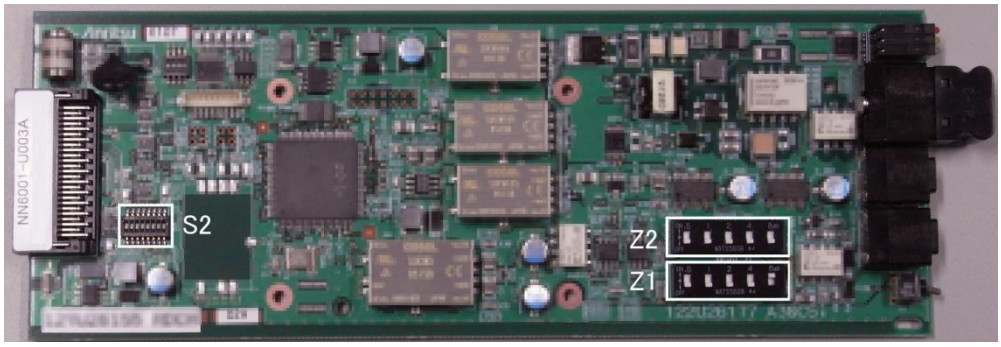
アッテネータ設定		Z2(SPAD)	Z1(RPAD)
0.5	0.5dB	出荷設定：0dB 	出荷設定：8dB 
1	1dB		
2	2dB		
4	4dB		
8	8dB		

3）ゆらぎ吸収バッファ設定（S2）

	設定内容	備考
1	4 3 2 1 [ms] 0 0 0 0 5ms 0 0 0 1 10ms 0 0 1 0 15ms | 1 1 1 0 75ms 1 1 1 1 80ms	出荷設定：5ms 
2		
3		
4		
5	メーカ調整用 (変更しないでください)	
6		
7		
8		

4．3．RDCH ユニット

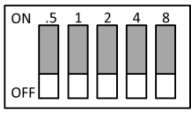
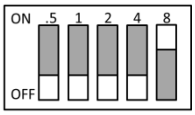
RDCH ユニットの設定方法を以下に示します。詳細は取扱説明書 「4.4.3 RDCH ユニット」（P36）を参照してください。



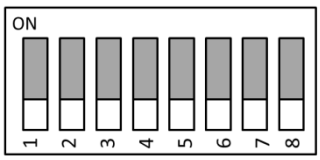
1）レベルダイヤ設定（Z2:SPAD／Z1:RPAD）

送受信信号を各々0dB～15dB／0.5dB ステップで可変することができる可変アッテネータがあります。アナログ信号のレベル調整が必要な場合は設定を変更してください。

・SPAD：端末装置が送信するレベルに対する設定用アッテネータ
・RPAD：端末装置が受信するレベルに対する設定用アッテネータ

アッテネータ設定		Z2(SPAD)	Z1(RPAD)
0.5	0.5dB	出荷設定：0dB	出荷設定：8dB
1	1dB		
2	2dB		
4	4dB		
8	8dB		

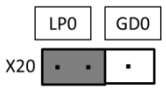
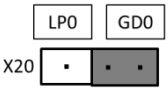
2）ゆらぎ吸収バッファ設定（S2）

	設定内容					備考
1	4	3	2	1	[ms]	出荷設定：5ms
	0	0	0	0	5ms	
2	0	0	0	1	10ms	
	0	0	1	0	15ms	
3						
	1	1	1	0	75ms	
4	1	1	1	1	80ms	
5	メーカ調整用 (変更しないでください)					
6						
7						
8						

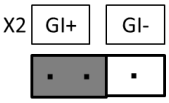
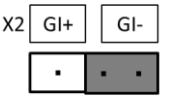
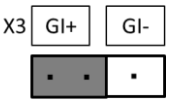
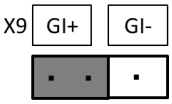
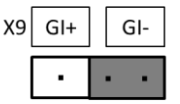
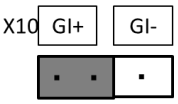
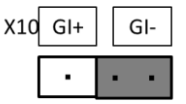
4．4．DIOCH ユニット

DIOCH ユニットの設定方法を以下に示します。詳細は取扱説明書 「4.4.5 DIOCH ユニット」（P40）を参照してください。

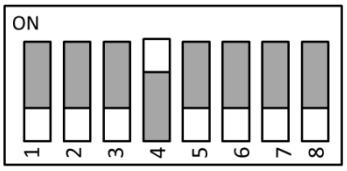
1）DO モード設定（X20）

設定	無電圧接点方式（LP0） （出荷設定）	地気出力方式（GD0）
X20 ジャンパ		

2）DI モード設定（X2、X3、X9、X10）

設定	正電圧接点方式（GI+） （出荷設定）	負電圧接点方式（GI-）
X2 ジャンパ		
X3 ジャンパ		
X9 ジャンパ		
X10 ジャンパ		

3）ゆらぎ吸収バッファ設定（S1）

<table>
<tr><th></th><th>設定内容</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>1
2
3
4</td><td>
<table>
<tr><th>4</th><th>3</th><th>2</th><th>1</th><th>[ms]</th></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>5ms</td></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>10ms</td></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>15ms</td></tr>
<tr><td colspan="5">|</td></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>75ms</td></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>80ms</td></tr>
</table>
</td><td rowspan="5">出荷設定：45ms
 
</td></tr>
<tr><td>5
6
7
8</td><td>メーカ調整用
(変更しないでください)</td></tr>
</table>